

生態系は都市文化を創り出せるか 野生生物と都市との出会い

2019 11月23日(土)

会場 金沢星稜大学 稲置記念館
B21 (星稜フォーラム)

【開会のご挨拶】 15:00-15:10
梶 光一 (野生生物と社会学会会長)

敬称略

【基調講演】 15:10-16:00
「なぜ文化多様性が重要なのか—自然、そして社会との関わりから考える—」
寺倉憲一 (国立国会図書館)

【パネルディスカッション】 16:15-17:30
パネリスト

寺倉憲一 (国立国会図書館)
大井 徹 (石川県立大学)
有本 勲 (合同会社 山立会)
高橋洋介 (金沢21世紀美術館)

モデレーター 敷田麻実 (北陸先端科学技術大学院大学)

住宅地で野生生物を怖がる住民の様子がメディアでリアルに伝えられます。都市部でのクマ出没の報道はセンセーショナルです。動物園では野生生物写真に夢中になります。コウノトリが地域ブランディングを促進します。まちと野生生物とのつき合いはさまざまです。

シンポジウムでは、生態系と食(生活)、獣害対策(政策)、アート(文化)を素材に、文化と繁栄の象徴である都市が野生生物と調和しながら、どんなまちを創り出すのかを問いたいと思います。

私たちは文化と野生をどう調和して、そこから新しい関係を構築するのか。答えのない問いを議論するスリリングな150分です。

会場 交通アクセス

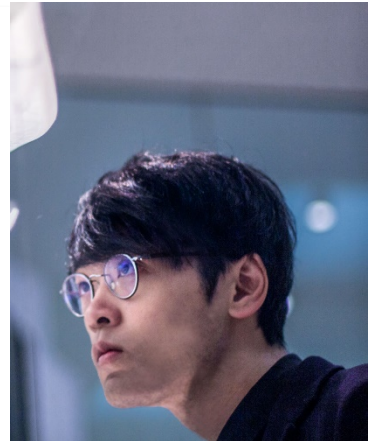
- 金沢駅兼六園口の4番のりばからJRバス東長江または小ニ又方面行き「星稜高校」下車で徒歩1分。
- 金沢駅兼六園口の北陸鉄道バス1番のりばまたは7番のりば柳橋方面行き「鳴和」下車で徒歩10分。
- 東金沢駅東口から徒歩20分。(タクシーで約3分)
東金沢駅バス停から金沢星稜大学・星稜高校行き「星稜高校」下車、徒歩1分。(乗車時間約3分)

**■寺倉憲一 国立国会図書館 国際子ども図書館長**

東京大学法学部卒業後、国立国会図書館入館。主に調査及び立法考査局において、国会審議を補佐するための調査研究に携わる。文教科学技術課長、文教科学技術調査室主幹、調査及び立法考査局次長等を経て、2018年4月から現職。専門は、高等教育政策、文化・学術法、著作権法。

■高橋洋介 金沢21世紀美術館 学芸員

東京藝術大学大学院美術研究科修了。金沢21世紀美術館での主な企画に「DeathLAB: 死を民主化せよ」(2018-2019)、「Ghost in the Cell: 細胞の中の幽霊」(2015-2016)など。表参道GYREにて開催した「2018年のフランケンシュタイン」は、200万人が選ぶ東京の2018年の展覧会ランキング1位を獲得(TOKYO ART BEAT)。専門は、ポストヒューマン美学および超人間中心主義の芸術。

**■大井徹 石川県立大学環境科学科 教授 学科長**

独立行政法人森林総合研究所・野生動物研究領域長、東京大学大学院農学生命研究科教授(併任)を経て、2015年4月より現職。野生動物の生態、保護管理が専門。ツキノワグマ-クマと森の生物学- (東海大学出版会) など著書多数。

■有本勲 合同会社山立会 (やまだちかい) 代表 (農学博士)

学生時代は東京農工大学でツキノワグマの生態を研究。石川県白山自然保護センター、(一社)白山ふもと会を経て、2017年に山立会を設立。里山の課題解決と価値創出を目的として白山麓を舞台にジビエ、野生動物管理、なめこ栽培など多角的な事業に取り組む。

**■敷田麻実 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域 教授**

高知大学農学部卒業後、石川県庁に勤務、その間、豪州ジェイムズクック大学大学院留学、金沢大学大学院修了。1998年に金沢工業大学教授、北海道大学観光学高等研究センター教授を経て、2016年から現職。野生生物保護学会会長(2005-2011年)。専門は観光資源論と地域マネジメント。「地域からのエコツーリズム」「観光の地域ブランディング」ほか論文多数。知床世界遺産地域科学委員会委員、中央環境審議会委員などを務める。